

山階鳥類研究所員による「テーマトーク」実績リスト

※毎月第3土曜日に我孫子市鳥の博物館 2階多目的ホールで行っています。(2018年3月までは第2土曜日)

【参加費】無料(入館料が必要) 【定員】各回とも先着50名

【主催・問い合わせ先】 山階鳥類研究所(TEL. 04-7182-1101)、我孫子市鳥の博物館(TEL. 04-7185-2212)

回	年	月日	演者	タイトル
1	2011年	5月14日	平岡 考	正倉院宝物バードウォッチング
2	2011年	6月11日	浅井芝樹	クマタカのDNA研究
3	2011年	7月9日	出口智広	小笠原へのアホウドリ再導入プロジェクト
4	2011年	8月13日	尾崎清明	ヤンバルクイナはなぜ飛ばないか
5	2011年	9月10日	鶴見みや古	小川三紀を知っていますか -オガワコマドリに名を残す天逝の鳥学者-
6	2011年	10月8日	林 良博	ニワトリの原種・赤色野鶏の素顔
7	2011年	11月12日	岡 奈理子	海鳥のヒナの肥満のなぞを解き明かす
8	2011年	12月10日	山崎剛史	骨のかたちと鳥でのくらし ～八重山諸島に特産するオサハシトガラスの形態進化～
9	2012年	1月14日	佐藤文男	東日本大震災が三陸沿岸の海鳥繁殖地に与えた影響
10	2012年	2月11日	齋藤武馬	メボソムシクイの謎を解く～3種に分かれた同種の分類について～
11	2012年	3月10日	茂田良光	ホオジロの個体変異と亜種について
12	2012年	4月14日	岩見恭子	鳥類標本の製作技法の研究
13	2012年	5月12日	富田直樹	ウミネコと人は持ちつ持たれつ ～餌資源に対する採餌行動の時空間的反応～
14	2012年	6月9日	仲村 昇	日本の海鳥は今一繁殖地で見られた諸問題一
15	2012年	7月14日	吉安京子	シロチドリ採餌戦略、カニカゴカイか
16	2012年	8月11日	浅井芝樹	マダガスカル動物
17	2012年	9月8日	平岡 考	鳥の絵と鳥類研究 ～鳥類画家小林重三を中心に
18	2012年	10月13日	小林さやか	普段は入ることができない博物館の裏側
19	2012年	11月10日	茂田良光	キビタキの亜種について
20	2013年	12月8日	富田直樹	兄弟げんかをやわらげる親の思い～ウミネコの卵の話
21	2013年	1月12日	佐藤文男	デコイに恋したアホウドリ 鳥島のデコちゃんのルーツ解明される
22	2013年	2月9日	岩見恭子	農耕地に暮らすタカ～トビの生態～
23	2013年	3月9日	米田重玄	最近の中国のトキ事情
24	2013年	4月13日	平岡 考	ヤキトリの鳥類学
25	2013年	5月11日	鶴見みや古	画像でみる山階鳥類研究所の昔とゆかりの人たち
26	2013年	6月8日	岡 奈理子	鳥の行動から放射能被曝を予測する～海鳥オオミズナギドリを例に考える～
27	2013年	7月13日	尾崎清明	ズグロカモメはどんな鳥？
28	2013年	8月10日	山崎剛史	鳥類の分類はなぜ変わるのか、どのように変わったか？
29	2013年	9月21日	浅井芝樹	日本に生息するミンサザイに地理的な違いはあるか？
30	2013年	10月12日	齋藤武馬	DNAから分かるカワラヒワの地域変異
31	2013年	11月9日	仲村 昇	標識調査による陸鳥の繁殖モニタリング調査(MAPS)
32	2014年	12月14日	茂田良光	南西諸島の南北で異なるリュウキュウキビタキの特徴
33	2014年	1月11日	岡 奈理子	海鳥とノネコの仁義なき戦い -伊豆諸島御蔵島の今-
34	2014年	2月8日	岩見恭子	鳥の死体は語る 解剖してみても分かること一
35	2014年	3月8日	平岡 考	採集人折居彪二郎と山階鳥類研究所
36	2014年	4月12日	富田直樹	日本の海鳥の今を知る～環境省モニタリングサイト1000とは～
37	2014年	5月10日	仲村 昇	鳥の色素異常について
38	2014年	6月14日	出口智広	チャタムアホウドリの新繁殖地形成について
39	2014年	7月12日	米田重玄	一夫多妻のタマシギの繁殖生態
40	2014年	9月13日	齋藤武馬	日本産鳥類の固有種が大幅に増えるかも？-日本繁殖鳥類234種のDNAバーコーディングの成果について-
41	2014年	10月11日	鶴見みや古	鳥といっしょにくらしています -外部寄生虫の世界-
42	2014年	12月13日	千田万里子	絶海の孤島で生きるモズの子育て戦略
43	2015年	1月10日	佐藤文男	絶滅危惧種クロシジロウミツバメの生態と保全
44	2015年	2月14日	森本 元	ルリビタキの茶色い雄と青い雄は争い方が同じなのか
45	2015年	3月14日	小林さやか	明治・大正期の鳥類標本 一寄室博物館コレクション
46	2015年	4月11日	尾崎清明	飛ばないクイナ類の保全状況 -ヤンバル・ロードハウ・ニューギランドクイナ-
47	2015年	5月9日	吉安京子	バンディングってなあに？
48	2015年	6月13日	平岡 考	バードウォッチング入門～入門済みの人はちょっと復習～
49	2015年	7月11日	佐藤文男	アホウドリ復活から学ぶこと
50	2015年	8月8日	出口智広	小笠原へのアホウドリ再導入作戦のこれまでの成果
51	2015年	10月9日	浅井芝樹	ウグイス亜種の謎についてDNAで調べたら？!
52	2015年	12月12日	山崎剛史	鳥類学とバイオメティクス ～鳥をまねた物づくり
53	2016年	1月9日	富田直樹	なかなか行けない海鳥繁殖地ってどんなところ？
54	2016年	2月13日	鶴見みや古	鳥に乗ってちゃっかり移動？-マダニの大旅行-
55	2016年	3月12日	仲村 昇	ジオロケータで判明したフボウソウの越冬地
56	2016年	4月9日	岩見恭子	オス？メス？見た目ではわかる？雄化する鳥の謎
57	2016年	5月14日	茂田良光	シギ・チドリ類の渡りを追って！
58	2016年	6月11日	岡 奈理子	オオミズナギドリの持ち時間-ノネコが激増する世界最大繁殖島・御蔵島の今-
59	2016年	7月9日	千田万里子	鳥にまつわる法律のハナシ
60	2016年	8月13日	齋藤武馬	ミンサザイってどんな鳥？こんな鳥
61	2016年	10月8日	小林さやか	明治期の標本が語るもの～絶滅鳥カロライナインコ～
62	2017年	2月11日	出口智広	アホウドリ 小笠原での繁殖成功が意味するもの
63	2017年	3月11日	平岡 考	毎日運行する漁船で営業したツバメ
64	2017年	4月8日	森本 元	生き物の不思議を暮らしに活かす『バイオメティクス』～鳥の色の話題を中心に～
65	2017年	5月13日	尾崎清明	なぜアホウドリやトキを保護するの？
66	2017年	6月10日	浅井芝樹	その学名でいいのか？-日本鳥類目録第7版を評価する
67	2017年	7月8日	吉安京子	鳥類標識調査 近年の話題から
68	2017年	8月12日	鶴見みや古	書籍にみる飼鳥文化 -大正から昭和にかけて-
69	2017年	10月14日	山崎剛史	鳥の系統学の今 ～ハヤブサはフルぶったインコなのか
70	2017年	12月9日	富田直樹	都心で繁殖を始めたウミネコの生態とヒトとの関係
71	2018年	1月13日	岩見恭子	鳥の標本ってどんなもの？はくせい標本の作り方
72	2018年	2月10日	齋藤武馬	南西諸島の鳥類の不思議をDNA から探る
73	2018年	3月10日	平岡 考	幻の絶滅鳥ミヤコシロウビンの謎を追う
74	2018年	4月21日	森本 元	富士山の野鳥と垂直分布～どの鳥がどの高さに棲んでいるのか～
75	2018年	5月19日	仲村 昇	鳥の木登り、ヒトの木登り
76	2018年	6月16日	小林さやか	拾われた珍鳥はどうなる？-標本材料収集の現場から
77	2018年	7月21日	園部浩一郎	博物画家・小林重三と日本の三大鳥類図鑑
78	2018年	8月18日	浅井芝樹	白い羽色異常はどういう仕組みで起きる？
79	2018年	10月20日	山崎剛史	「フクロウの翼のみみつ ～その知られざる苦労
80	2018年	12月15日	油田照秋	協力したり、独占したり、託したり、だましたり～鳥たちの多様な繁殖の仕方～
81	2019年	1月19日	平岡 考	小型ツグミはどこへ行った？～変化した昔の「ヒタキ科」の分類
82	2019年	2月16日	鶴見みや古	3種のカワセミの謎-山階鳥研のステンドグラス-